

1960年代社会保障関係文献目録

先に『戦後の社会保障 資料』では、『社会保険時報』『社会保障年鑑』などを拠りどころとして、1945年から1966年までの社会保障関係文献目録を作成した。今回はこの目録および国立国会図書館の図書カードから厳選し、かつこれらの不足を補いつつ、新たに分類、整理して、1960年から1969年末までの文献目録を作成した。

分類は、A社会保障・社会政策、B公的扶助・社会福祉、C社会保険、D医療・公衆衛生、Eその他関連領域、という大まかなものにとどめた。

配列は各分類項目において、初版の出版年次順、著者の五十音順とした。

記載順序は著者または編者名（翻訳書の場合は訳者名）、書名、発行者、判型、頁数である。

当初、単行書のほかに白書、調査報告など官庁刊行物、年鑑、年報、辞典、その他資料的なものを含めて掲載する予定であったが、今回は紙幅の都合により単行書のみに限定した。（担当者：渡辺益男、都村敦子、花島政三郎）

A 社会保障・社会政策

1960

井藤半弥博士退官記念論文集編集委員会編：社会政策の基本問題，千倉書房，A 5，600 p.

丸山博編：講座社会保障，第2～第4，至誠堂，A 5，295 p.，342 p.，317 p.

吉田久一・小川政亮編：社会保障と社会事業，医歯薬出版，A 5，259 p.

1961

大内兵衛編：戦後における社会保障の展開，至誠堂，A 5，359 p.

小川喜一：イギリス社会政策史論，有斐閣，A 5，268 p. クロスランド，関嘉彦訳：福祉国家の将来（上・下），論争社，B 6，393 p.，431 p.

西川桂治・宝木久雄編：社会保障と労働者福祉，三一書房，新書，229 p.

松尾均編：日本社会保障読本，東洋経済新報社，A 5，280 p.

1962

内田繁隆編：福祉国家論，成文堂，A 5，330 p.

大河内一男編：社会政策，青林書院新社，A 5，478 p.

樫原信一：社会政策の基礎理論，法律文化社，A 5，274 p.

国井国長：日本の社会保障の特質と改革の考え方，国井社会生活研究所，B 5，98 p.

黒木利克：日本の社会保障，社会福祉新聞社，B 6，259 p.

佐口卓：ふだん着の福祉国家，宮坂出版社，B 6，298 p.

総評中立労連春闘共闘委員会・社会保障推進協議会共編：社会保障のてびき—どう理解し闘うか，労働旬報社，新書，143 p.

日本共産党編：社会保障，日本共産党中央委員会出版部，B 6，160 p.

松尾均・江口英一編：社会保障（講座日本の労働問題第3），弘文堂，A 5，375 p.

リチャードソン，江間時彦訳：社会保障の財政と経済，至誠堂，A 5，314 p.

渡辺華子：福祉国家，日本労働協会，新書，179 p.

1963

大河内一男：社会政策講義 1，有信堂，A 5，150 p.

北岡寿逸：福祉国家の建設，東洋経済新報社，A 5，221 p.

孝橋正一：社会政策と社会保障，ミネルヴァ書房，新書，220 p.

近藤文二：社会保障の歴史，全社連広報出版部，B 6，296 p.

近藤文二：社会保険，岩波書店，A 5，426 p.

近藤文二教授還暦記念事業委員会編：生活保障の経済理論，日本評論社，A 5，233 p.

高須裕三：福祉国家の動向，誠信書房，A 5，240 p.

ミュルダール，北川一雄監訳：福祉国家を越えて，ダイヤモンド社，A 5，284 p.

武藤光朗・加藤寛編：日本福祉国家の条件，春秋社，A 5，225 p.

村山重忠：社会問題概説，法政大学出版局，A 5，160 p.

1964

伊部英男：社会計画，至誠堂，B 6，366 p.

小川政亮：家族，国籍，社会保障，勁草書房，A 5，321 p.

小川政亮：権利としての社会保障，勁草書房，A 5，

- 330 p.
- 国際連合編、厚生省大臣官房企画室訳：世界の経済開発と社会開発，原書房，A 5，257 p.
- 関嘉彦・丸尾直美：福祉国家のビジョン，講談社，新書，222 p.
- 庭田範秋：社会保障の基本理論，慶応通信，A 5，315 p.
- 広崎真八郎：社会政策研究，成文堂，A 5，342 p.
- 前田清：日本の社会開発，春秋社，A 5，195 p.
- 松尾均編：日本社会保障読本（新版），東洋経済新報社，A 5，264 p.
- エリ・ルイコワ，エス・クラシヨフ，駿台社編集部訳：社会保障と保健，駿台社，新書，106 p.
- 1965**
- 今井一男・佐口卓編：社会保障の理論と課題（末高信博士古稀記念論文集），社会保険法規研究会，A 5，372 p.
- 大河内一男：社会政策講義2，有信堂，A 5，171 p.
- 岸本英太郎：社会政策，ミネルヴァ書房，B 6，357 p.
- 近藤文二：社会保障と労働福祉，日本労働協会，新書，270 p.
- 真田是：現代社会学と社会問題，青木書店，A 5，225 p.
- 角田豊：社会政策講義，未来社，A 5，196 p.
- 高須裕三：社会開発理論ABC，野田経済社，新書，217 p.
- 地域開発研究会：地域開発における社会開発の策定に関する研究，大蔵省印刷局，B 5，180 p.
- 中嶋博・鈴木慎一・大野正治：福祉国家における教育，南窓社，A 5，324 p.
- 平田隆夫：社会政策講義，雄渾社，A 5，142 p.
- 丸尾直美：福祉国家の経済政策，中央経済社，A 5，351 p.
- 武藤光朗編：福祉国家論——北欧三国をめぐって——，社会思想社，B 6，324 p.
- 与田桓：社会保障，ミネルヴァ書房，B 6，282 p.
- 1966**
- 荒木誠之：日本の社会保障，同文館，B 6，306 p.
- 大河内一男編：社会政策，高文社，A 5，290 p.
- 大河内一男先生還暦記念論文集刊行委員会編：社会政策学の基本問題—大河内一男先生還暦記念論文集，第1集，有斐閣，A 5，401 p.
- 肥川治一郎：働く者の社会保障読本，社会保険法規研究会，B 6，266 p.
- 小谷義次：福祉国家論，筑摩書房，A 5，278 p.
- 近藤文二：社会保障の歴史，厚生出版社，B 6，422 p.
- 佐藤進：日本の社会保障—その体制と給付の実態，労働旬報社，B 5，70 p.
- 真田是：社会保障—その政治と経済，汐文社，B 6，235 p.
- 社会政策学会編：社会保障と最低賃金制（社会政策学会年報第13集），御茶の水書房，A 5，196 p.
- ショットランド，園乾治訳：アメリカの社会保障，慶応通信，B 6，254 p.
- 服部英太郎：国家独占資本主義社会政策論，（服部英太郎著作集5）未来社，A 5，290 p.
- 松尾均：現代の社会政策，東洋経済新報社，B 6，290 p.
- 森幹郎訳編：福祉国家，北欧 第1，聖文舎，B 6，203 p.
- 矢島悦太郎：社会政策社会理論研究，日本評論社，A 5，546 p.
- 吉野俊彦：福祉国家の金融政策，至誠堂，B 6，206 p.
- イ・テ・レービン，中山研一・畑中和夫共訳：現代憲法と福祉国家，法律文化社，B 6，292 p.
- 1967**
- 上田千秋：社会保障入門，ミネルヴァ書房，B 6，283 p.
- 大河内一男・有泉亨・金子美雄・藻利重隆編：社会保障と福利厚生（現代労働問題講座8），有斐閣，A 5，336 p.
- 大友福夫編：社会政策40年—服部英太郎博士追悼文集，未来社，A 5，166 p.
- 岡部寛之：現代社会保障論，保険研究所，A 5，210 p.
- 小倉裏二・堂面秋芳・山本開作・窪田隼人：現代の社会保障，労働旬報社，B 5，117 p.
- 岸本英太郎編：社会政策入門，有斐閣，B 6，280 p.
- 岸本英太郎：労働経済と社会政策，ミネルヴァ書房，B 6，249 p.
- 黒木利克：社会保障法概論，福祉新聞社，A 5，123 p.
- M. S. ゴードン，地主重美・向井利榮共訳：社会保障の経済分析，社会保障研究所，A 5，163 p.
- 坂本二郎：日本型福祉国家の構想—選択の方向とその課題，ペリかん社，B 6，386 p.
- 鈴木安蔵編：現代福祉国家論批判，法律文化社，A 5，368 p.
- R. M. ティトマス，谷昌恒訳：福祉国家の理想と現実，社会保障研究所，A 5，264 p.
- 中村遥：ヨーロッパの社会保障—祖国日本への反省，ミネルヴァ書房，B 6，311 p.
- 日本経済調査協議会：社会保障制度の再検討，日本経済調査会，B 5，359 p.
- 日本法社会学会編：社会保障の権利，有斐閣，A 5，

218 p.

服部英太郎：社会政策総論（服部英太郎著作集6），未来社，A 5，396 p.

平田富太郎・佐口卓・永山武夫・安藤哲吉・高橋赴夫・古賀比呂比：社会政策（経済学全集9），世界書院，A 5，277 p.

松尾均編：社会保障読本，東洋経済新報社，A 5，278 p.

丸尾直美：福祉国家の話，日本経済新聞社，新書，196 p.

村山重忠：社会問題入門，高文堂出版社，B 6，185 p.

森幹郎編訳：福祉国家・北欧Ⅱ（社会保障，住宅，憲法等），聖文舎，B 6，346 p.

吉田秀夫：社会保障入門，労働旬報社，新書，262 p.

1968

稲垣正明：社会保障研究，評論社，A 5，213 p.

上村政彦・小島米吉：諸国の社会保障，厚生出版社，A 5，80 p.

小倉襄二：社会保障と社会問題，汐文社，B 6，408 p.

V. カールソン，平石長久・篠原恒・横山和彦共訳：経済政策と社会保障，好学社，A 5，245 p.

桑原晋：福祉世界の経済学，東洋経済新報社，A 5，236 p.

小山路男・佐口卓編：社会保障論，有斐閣，B 6，278 p.

近藤文二：社会保障入門，有斐閣，B 6，260 p.

社会保障研究所編：戦後の社会保障一本論，至誠堂，B 5，360 p.

角田豊：社会保障法の課題と展望，法律文化社，A 5，258 p.

角田豊・小倉襄二編：現代の社会保障，法律文化社，A 5，393 p.

ロバート・セオボルト編，浜崎敬治訳：保障所得——経済発展の新段階——，法政大学出版局，B 6，289 p.

高橋武：国際社会保障法の研究，至誠堂，A 5，576 p.

中村正文：社会保障概論，日本評論社，B 6，206 p.

林迪広・古賀昭典：現代社会保障法論，法律文化社，

松原治郎：日本の社会開発，福村出版，B 6，252 p. A 5，250 p.

山田雄三：社会保障研究序説，社会保障研究所，A 5，165 p.

1969

児島美都子：社会保障を考える，風媒社，B 6，185 p. 358 p.

近藤文二：新版社会保障の歴史，厚生出版社，B 6，358 p.

佐藤進：社会保障の法体系・上，勁草書房，A 5，229 p.

産業計画会議編：財政投融资と社会開発，経済往来社，

A 5，165 p.

高須裕三：現代の社会政策，中央経済社，A 5，197 p.

高橋武：国際社会保障法の課題と展望，至誠堂，A 5，539 p.

ドイツ社会政策研究会訳編：西ドイツの社会政策，日本労働協会，A 5，306 p.

矢島悦太郎編：社会政策概論，有斐閣，B 6，309 p.

B 公的扶助・社会福祉

1960

秋山健二郎・森秀人・山下竹史：現代日本の底辺，第1巻，最下層の人びと，第2巻，行商人と日雇，第3巻，不安定就業者，第4巻，零細企業の労働者，三一書房，B 6，248 p., 251 p., 267 p., 244 p.

池川清：老人福祉，関書院，A 5，333 p.

大阪社会事業経営協会：民間施設経営論，日本生命済生会，A 5，116 p.

大塚達雄：ソーシャルケースワーク，その原理と技術，ミネルヴァ書房，新書，187 p.

孝橋正一：社会事業概論，ミネルヴァ書房，新書，213 p.

国際社会事業会議：世界の社会福祉，第9回国際社会会議運営会，A 5，473 p.

ジャン・シャザル，清水慶子・霧生和夫共訳：子供の権利，白水社，新書，140 p.

塚本哲：社会福祉入門，学陽書房，A 5，339 p.

日本社会事業大学救貧制度研究会編：日本の救貧制度，勁草書房，A 5，393 p.

G. ハミルトン，三浦賜郎訳：ケースワークの理論と実際，上，有斐閣，B 6，238 p.

吹田盛徳：望ましい保育，ミネルヴァ書房，新書，154 p.

吉田久一：日本社会事業の歴史，勁草書房，B 6，331 p.

1961

池川清：母子福祉，日本生命済生会，A 5，732 p.

磯村英一：釜ヶ崎，ミネルヴァ書房，新書，241 p.

金子吉衛：見て来た老人天国，誠信書房，B 6，228 p.

川崎肇：社会福祉学の指標——ゆたかな社会をつくるために，弘学社，B 6，176 p.

クウィーン，高橋梵仙訳：西洋社会事業史，ミネルヴァ書房，A 5，315 p.

児玉政介・木田徹郎：社会福祉，建帛社，A 5，189 p.

小林文成：老人は変わる——老人学級の創造，国土社，B 6，269 p.

生活科学調査会編：老後問題の研究，医歯薬出版，A 5，207 p.

・田代不二男：公的扶助の研究，光生館，B 6，210 p.
 ・底辺の会：ドヤー山谷を中心に，三一書房，新書，219 p.

1962

・安食正夫：老人の心，全国社会福祉協議会，新書，101 p.
 ・磯村英一編：日本のスラム，誠信書房，B 6，198 p.
 ・一番ヶ瀬康子：社会福祉，日本女性文化協会，A 5，
 293 p.
 ・一番ヶ瀬康子等：日本の保育，医歯薬出版，A 5，302 p.
 ・大橋薫：都市の下層社会，誠信書房，A 5，393 p.
 ・小倉襄二：公的扶助，ミネルヴァ書房，新書，238 p.
 ・笠原正成：老人社会学，駿河台出版社，A 5，150 p.
 ・木村忠二郎：社会福祉事業の知識，全国社会福祉協議会，
 新書，225 p.
 ・孝橋正一：全訂社会事業の基本問題，ミネルヴァ書房，
 A 5，343 p.
 ・小山路男：イギリス救貧法史論，日本評論新社，A 5，
 293 p.
 ・仲村優一：ケースワークの原理と技術，全国社会福祉協
 議会，新書，210 p.
 ・那須宗一：老人世代論，芦書房，A 5，278 p.
 ・部落問題研究所：同和行政のあり方，部落問題研究所出
 版部，新書，278 p.

1963

・青井和夫・小倉学・柏熊岬二・宮坂忠夫：コミュニテ
 ィ・アプローチの理論と技法，績文堂，A 5，329 p.
 ・池見猛：スラム街発生原因の研究，民族科学研究所，
 A 4，204 p.
 ・一番ヶ瀬康子：アメリカ社会福祉発達史，光生館，A 5，
 310 p.
 ・浦辺史：日本の保育問題，ミネルヴァ書房，新書，254 p.
 ・岡村重夫：社会福祉学（各論），柴田書店，A 5，266 p.
 ・木村武夫・宇治谷義雄：児童福祉論入門，ミネルヴァ書
 房，新書，161 p.
 ・国井国長：社会保障不服審査制度と権利意識，国井社会
 生活研究所，B 5，115 p.
 ・孝橋正一：老後の社会保障，ミネルヴァ書房，新書，
 202 p.
 ・社会事業研究会編：医療社会事業研究，日本生命済生会，
 A 5，108 p.
 ・シャルロット・トール，村越芳男訳：公的扶助ケースワ
 ークの理論と実際，全国社会福祉協議会，A 5，208 p.
 ・三吉明：里親制度の研究，日本児童福祉協会，A 5，
 335 p.
 ・リッチモンド，杉本義一訳：人間の発見と形成，誠信書

房，B 6，249 p.

マレー・ロス，岡村重夫訳：コミュニティ・オーガニゼ
 ーション，全国社会福祉協議会，A 5，259 p.

1964

H. H. アプテカー，坪上宏訳：ケースワークとカウ
 ンセリング，誠信書房，A 5，268 p.
 ・一番ヶ瀬康子：社会福祉事業概論，誠信書房，B 6，
 236 p.
 ・一番ヶ瀬康子等：日本の児童福祉，生活科学調査会，
 A 5，301 p.
 ・医療社会事業研究会：医療社会事業，ミネルヴァ書房，
 新書，231 p.
 ・岡村重夫：社会福祉学（総論），柴田書店，A 5，257 p.
 ・小川政亮：社会事業法制概説，誠信書房，B 6，272 p.
 ・木田徹郎：社会福祉概論，新日本法規出版，A 5，388 p.
 ・木村武夫：日本近代社会事業史，ミネルヴァ書房，新書，
 164 p.
 ・黒木利克：日本の児童福祉，良書普及会，B 6，284 p.
 ・柴田善守：石井十次の生涯と思想，春秋社，B 6，437 p.
 ・柴田善守：小河滋次郎の社会事業思想，日本生命済生会，
 B 6，222 p.
 ・社会福祉研究会編：社会福祉の方法，誠信書房，A 5，
 356 p.
 ・社会福祉事業振興会：新しい老人ホーム，A 5，126 p.
 ・下出智子：集団育児，紀伊国屋書店，新書，196 p.
 ・鈴木鳴海：日本の保母，三一書房，B 6，197 p.
 ・田代国次郎：日本社会事業成立史，童心社，A 5，
 290 p.
 ・徳永寅雄：児童福祉概論，国土社，A 5，181 p.
 ・中島さつき：医療社会事業，誠信書房，B 6，278 p.
 ・仲村優一：ケースワーク，誠信書房，B 6，188 p.
 ・日本社会事業研究会：社会福祉事業概説，ミネルヴァ書
 房，B 6，262 p.
 ・G. ハミルトン，仲村優一訳：ケースワークの理論と実
 際，下，有斐閣，B 6，276 p.
 ・吉田久一・高島進：社会事業の歴史，誠信書房，B 6，
 219 p.
 1965
 ・朝日茂：人間裁判（死と生をかけた抗議），草土文化，
 B 6，239 p.
 ・一番ヶ瀬康子・小松源助：社会福祉概論，医歯薬出版，
 A 5，101 p.
 ・J. H. ウォーリス，岡田藤太郎・中園康夫共訳：カウ
 ンセリングと社会福祉，誠信書房，B 6，258 p.

- 岡村重夫：ケースワーク記録法，誠信書房，A 5，198 p.
 笠原正成：社会福祉要論，川島書店，A 5，217 p.
 岸勇：公的扶助とケースワーク，風媒社，B 6，226 p.
 柴田善守：児童福祉概説，家政教育社，A 5，301 p.
 田代国次郎：日本社会福祉の基礎的研究，童心社，A 5，224 p.
 田中恒男：ケース研究の理論とすすめ方，医学書院，A 5，132 p.
 F. P. バイステック，田代不二男・村越芳男共訳：ケースワークの原則(よりよき援助を与える為に)，誠信書房，B 6，230 p.
 ハリントン，内田満・青山保共訳：もう一つのアメリカ，合衆国の貧困，日本評論社，B 6，294 p.
 吹田盛徳・上田千秋：現代の児童福祉，ミネルヴァ書房，新書，178 p.
 若林竜夫編：社会福祉方法論，新日本法規出版，A 5，273 p.
1966
 牛丸義留：老後の生活，社会保険法規研究会，B 6，356 p.
 柏木昭：ケースワーク入門，川島書店，B 6，216 p.
 木田徹郎・竹中和郎・副田義也編：社会福祉の方法(改訂版)，誠信書房，A 5，311 p.
 斎藤謙：養護原理，川島書店，B 6，263 p.
 宍戸健夫：日本の集団保育，文化書房博文社，B 6，297 p.
 杉本照子：医療におけるケースワークの実際，医学書院，A 5，264 p.
 鈴木佳男：養子と里親，国土社，B 6，238 p.
 大道安次郎：老人社会学の展開，ミネルヴァ書房，A 5，309 p.
 田代不二男：社会福祉，光生館，A 5，156 p.
 竹内愛二：実践福祉社会学，弘文堂，A 5，292 p.
 ヘレン，ハリス，パールマン，松本武子訳：ソーシャル・ケースワーク，問題解決の過程，全国社会福祉協議会，A 5，335 p.
 フローレンス，ホリス，本出祐之・黒川昭登・森野郁子共訳：ケースワーク，社会心理療法，岩崎学術出版社，A 5，396 p.
 牧賢一：コミュニティ・オーガニゼーション概論(社会福祉事業の理論と実際)，全国社会福祉協議会，A 5，257 p.
 松原治郎・副田義也編：福祉社会学，川島書店，A 5，244 p.
 吉田忠雄：満員日本の虚説(家族と社会福祉について)，生活科学調査会，B 6，220 p.
1967
 明山和夫：生活保護，制度とそのあり方，ミネルヴァ書房，B 6，247 p.
 朝日訴訟中央対策委員会編：人間裁判10年，労働旬報社，A 5，358 p.
 渥美節夫：わが国の児童福祉，日本児童福祉協会，A 5，272 p.
 糸賀一雄・積惟勝・浦辺史編：施設養護論，ミネルヴァ書房，A 5，328 p.
 上田千秋：現代児童福祉論，ミネルヴァ書房，新書，217 p.
 大谷嘉朗：養護原理，誠信書房，B 6，303 p.
 小笠原平八郎：里親保護，川島書店，B 6，249 p.
 金高ますえ：根っこは枯れず，東京民医連，B 6，140 p.
 木田徹郎：社会福祉事業，川島書店，B 6，202 p.
 国井国長：社会保障の不服審査と苦情処理，国井国長社会生活研究所，A 5，308 p.
 孝橋正一：老後問題，創元社，新書，242 p.
 児島美都子：身体障害者福祉，ミネルヴァ書房，新書，237 p.
 ジゼラ，コノプカ，前田ケイ訳：ソーシャル・グループ・ワーク，援助の過程，全国社会福祉協議会，A 5，416 p.
 鈴木一郎：生活保護法の法社会学的研究，勁草書房，A 5，302 p.
 塚本哲：老人社会福祉，ミネルヴァ書房，新書，264 p.
 日本医療社会事業協会編：医療社会事業事例集，医学書院，A 5，285 p.
 日本社会事業大学編：生活保護のケース研究，中央法規出版，新書，304 p.
 日本社会事業大学編：戦後日本の社会事業，勁草書房，A 5，446 p.
 野口栄子：児童の福祉，明玄書房，A 5，210 p.
 マリアン，マウリー著，井上勇訳：貧困とのたたかい，時事通信社，新書，189 p.
 松本武子編訳：ケースワークの基礎，誠信書房，A 5，257 p.
 矢野武夫：心身障害者のためのコロニー論，日本精神薄弱愛護協会，B 6，81 p.
 横浜市従民生行政研究会編：社会福祉労働者物語，労働旬報社，B 6，222 p.
 吉田寿三郎：老人の保健福祉に関する体系的開発，日本

- 生命済生会, A 5, 120 p.
- 鷺谷善教: わたくしたちの保育政策, 文化書房博文社, B 6, 279 p.
- 1968
- 浅沼和典: 社会福祉論要綱, 早稲田大学出版部, A 5, 260 p.
- H. H. アプテカー, 黒川昭登訳: 機能主義ケースワーク入門, 岩崎学術出版社, B 6, 224 p.
- 安藤円章: 老人の福祉, 大津天台宗社会部, B 6, 45 p.
- 安藤哲吉・桐木逸朗: 労働福祉の基礎知識, 日本労働協会, B 6, 196 p.
- 一番ヶ瀬康子・小野寺百合子: スウェーデンの社会福祉, 全国社会福祉協議会, B 6, 242 p.
- 一番ヶ瀬康子・真田是: 社会福祉論, 有斐閣, B 6, 264 p.
- 糸賀一雄: 福祉の思想, 日本放送協会, B 6, 244 p.
- 大村潤四郎・吉田寿三郎・重田信一: 社会保障・社会福祉, 医学書院, A 5, 232 p.
- 岡田藤太郎: 現代社会福祉学入門, 黎明書房, A 5, 362 p.
- 垣内芳子: 老人クラブとレクリエーション, 全国社会福祉協議会, B 6, 221 p.
- 笹山京・江口英一・田中寿: 公的扶助制度比較研究, 光生館, A 5, 226 p.
- 笠原正成: 社会福祉通論, 駿河台出版社, A 5, 258 p.
- 笠原正成: 老人社会学要論, 駿河台出版社, A 5, 322 p.
- 小松源助・高沢武司: 社会福祉, 医学書院, A 5, 147 p.
- 社会事業研究会編: 社会福祉入門, 労働旬報社, B 6, 270 p.
- 杉村春三: 美しい老年期, 婦人之友社, B 6, 237 p.
- 副田義也: コミュニティ・オーガニゼーション, 誠信書房, B 6, 328 p.
- 高橋精一: 中途失明者福祉のための基礎的研究, 全国社会福祉協議会, B 5, 89 p.
- 田代国次郎: 日本の貧困階層—公的扶助対象論の研究, 童心社, A 5, 307 p.
- 辻村泰男・植山つる編: 児童福祉, 川島書店, A 5, 229 p.
- 中林真男編: 体系労働福祉論, 労働旬報社, A 5, 560 p.
- 中村遥: 児童福祉の理論と実際, ミネルヴァ書房, B 6, 347 p.
- 日本社会事業研究会編: 社会福祉事業概説, ミネルヴァ書房, B 6, 262 p.
- 畑谷光代: つたえあい保育の誕生, 文化書房博文社, B 6, 377 p.
- 森幹郎: 老人福祉の方向, 社会保険出版社, B 6, 210 p.
- ヤングハズバンド編, 松本武子・木村嘉男・山崎道子・小島容子共訳: 家庭福祉, 家政教育社, A 5, 298 p.
- 鷺谷善教: 社会事業従事者, ミネルヴァ書房, 新書, 217 p.
- 1969
- ジェーン・アダムス, 柴田善守訳: ハル・ハウスの20年——アメリカにおけるスラム活動の記録——, 岩崎学術出版社, B 6, 341 p.
- 磯村光男: 老人クラブ読本, 社会保険出版社, B 6, 204 p.
- 一番ヶ瀬康子: 児童福祉論, 国土社, 新書, 206 p.
- 浦辺史: 日本保育運動小史, 風媒社, B 6, 266 p.
- 大塚達雄・井垣章二・住谷馨他: 児童ケースワーク, ミネルヴァ書房, B 6, 283 p.
- 小倉要二: 公的扶助——貧乏とその対策——, ミネルヴァ書房, 新書, 238 p.
- 小関康之: 保育と集団あそび<社会事業新書>, ミネルヴァ書房, 新書, 171 p.
- N. R. ガートン, H. A. オットー, 本出祐之・黒川昭登訳: ケースワークの発展<社会福祉学双書4>, 岩崎学術出版社, B 6, 231 p.
- 金田茂郎: 戦後日本の児童政策批判, 啓隆閣, B 6, 321 p.
- R. C. キャボット, 森野郁子訳: 医療ソーシャルワーク, 岩崎学術出版社, B 6, 180 p.
- 窪田暁子: グループワーク 誠信書房, B 6, 246 p.
- 孝橋正一: 社会科学と社会事業, ミネルヴァ書房, B 6, 309 p.
- 孝橋正一: 社会福祉入門, 労働旬報社, B 6, 235 p.
- 小林恒夫・白川泰二: 「太陽の家」の記録——保護より闘いを——, 日本放送出版協会, B 6, 201 p.
- 佐藤進: 日本の老齢保障, 日本労働協会, 新書, 226 p.
- 柴田善守編: ボランティア活動, ミネルヴァ書房, 新書, 216 p.
- 杉村春三: 続美しい老年期, 婦人之友社, B 6, 252 p.
- 芹沢勇: 社会福祉施設管理, ミネルヴァ書房, B 6, 261 p.
- 全国社会福祉協議会: 福祉社会への道, 同協議会, A 4, 300 p.
- 高島巖・村田修子: もてるものがもたないものではない, 川島書店, B 6, 264 p.
- 田代国次郎: 医療社会福祉研究, 童心社, A 5, 307 p.

- 田代不二男：イギリス救貧制度の発達，光生館，A 5，174 p.
- 田中多聞：新老人福祉論，社会保険出版社，B 6，326 p.
- オーバートン・ティンカー，仲村優一・柏木昭訳：ケースワークノートブック，川島書店，A 5，275 p.
- 東京保育問題連絡会：働く婦人と保育所，労働旬報社，B 6，390 p.
- 永井輝夫：老人扶養を考える＜老人福祉双書＞，社会保険出版社，B 6，297 p.
- 中村貞男：体系労働者福祉論，労働旬報社，A 5，491 p.
- 松本武子：保育所における乳児教育，家政教育社，A 5，218 p.
- 森幹郎：老人リハビリテーション（老人福祉双書），社会保険出版社，新書，125 p.
- V. P. ロビンソン，杉本照子訳：ケースワーク心理学の変遷＜社会福祉学双書＞，岩崎学術出版社，B 6，221 p.

C 社会保険

1960

- 黒木利克：私小児童手当白書，白桃書房，B 6，133 p.
- 庭田範秋：保険経済学序説，慶応通信，A 5，316 p.
- 蓮田茂：国民健康保険史，日本医師会，A 5，1260 p.
- 村上茂利：労災補償の基本問題—労災保険法改正の法理，旧刊労働通信社，A 5，611 p.

1961

- エクスタイン，高須裕三訳：医療保障，誠信書房，A 5，276 p.
- 大塚要：国民皆保険に関する諸問題，日本労働問題研究会，A 5，358 p.
- 川元英二：アメリカ退職年金制度，ミネルヴァ書房，A 5，326 p.
- 社会保険新聞社編：社会保険の発達，社会保険新聞社，B 5，612 p.
- 園乾治編：現代保険学の課題，東洋経済新報社，A 5，416 p.
- 労働省労働基準局労災補償部労働法令協会：労災補償行政史，A 5，1686 p.

1962

- エヴァング，木村潤四郎訳：医療制度の現状と将来，医歯薬出版，A 5，154 p.
- 内藤三郎：カナダにおける労災補償とリハビリテーション，労働福祉事業団，B 5，203 p.
- 庭田範秋：わが国近代保険学の発展，慶応通信，A 5，

358 p.

真野脩：退職年金制度，森山書店，A 5，348 p.

1963

- 近藤文二：社会保険，岩波書店，A 5，426 p.
- 富安長輝：企業退職年金制度の研究，日刊労働通信社，A 5，1493 p.
- 長瀬恒蔵：社会保障と50年，社会保険新社，A 5，407 p.
- 中村正文：医療保障の基本問題，神戸商科大学経済研究所，A 5，229 p.
- 野田卯一：国民年金法と改正，日本国民年金協会，B 6，415 p.
- 平田富太郎・安藤鉄吉：企業年金の理論と実務，労務研究所，A 5，929 p.
- 労働福祉事業団：労災医療，B 6，306 p.

1964

- 上石一男：保険医療制度の根本問題，金剛出版，B 6，236 p.
- 佐口卓：医療の社会化，勁草書房，B 6，280 p.
- 村上清：企業年金と調整年金，ダイヤモンド社，B 6，317 p.
- 山本伊三郎：年金制度の理論と現状，労働法令協会，B 6，315 p.

1965

- 内野仙一郎：海外の医療保障と医療費，中央社会保険研究会，B 6，616 p.
- 葛城照三編：保険学の論理と現実（末高信博士古稀祝賀论文集），成文堂，A 5，370 p.
- 佐口卓：日本社会保険史，日本評論社，A 5，251 p.
- 日本都市センター：都市国保の現状と問題点，A 5，61 p.
- 額田繁・西村豁道：日本の医療問題，ミネルヴァ書房，B 6，294 p.
- 保険毎日新聞社：調整年金，新書，335 p.
- 松本浩太郎：年金の話，日本経済新聞社，新書，225 p.
- 三島宗彦・佐藤進：労働者の災害補償，有斐閣，B 6，299 p.
- 村上清・山崎親雄：年金数理と財政の仕組，近代セールス社，新書，190 p.
- 村上清：企業年金と社会保障の課題，ダイヤモンド社，B 6，322 p.

1966

- 大河内一男他編：労働災害（現代労働問題講座第6巻），有斐閣，A 5，319 p.

京都府労働経済研究所：労働災害と労災保険，京都府労働経済研究所，B 5，52 p.

黒住章：定年制・退職金・退職年金，労働旬報社，B 6，525 p.

近藤文二編：医療費問題，厚生出版社，B 6，466 p.

佐口卓：日本の医療保障，東洋経済新報社，B 6，284 p.

佐藤進：健康保険組合論，社会保険新報社，A 5，236 p.

下田平裕身：簡易保険政策の成立と展開，郵政省簡易保険局，B 5，178 p.

総評中立労連春闘共闘委員会専門委員会：退職金と年金制度，労働経済社，A 5，318 p.

中央社会保障推進協議会：健康保険組合入門，労働旬報社，B 6，397 p.

日本児童福祉協会：児童手当制度，日本児童福祉協会，A 5，183 p.

庭田範秋：保険理論の展開，有斐閣，A 5，328 p.

野田卯一：わが国の公的年金，日本国民年金協会，B 6，512 p.

細川汀：職業病と労働災害，労働経済社，B 6，356 p.

1967

大橋和孝：ヨーロッパの医療保障，新興出版社，新書，273 p.

国崎裕：生命保険，有斐閣，新書，287 p.

健康保険組合連合会：わたしたちの医療保障，A 5，127 p.

小島米吉：社会保険の知識，日本経済新聞社，新書，209 p.

坂寄俊雄・窪田隼人・細川汀：現代の労働災害と職業病，労働旬報社，A 5，543 p.

楯郁夫：年金の基礎知識，ダイヤモンド社，B 6，253 p.

藤井得三：退職金の話，日本経済新聞社，新書，212 p.

村上清他：退職金合理化と年金制度の設計，ダイヤモンド社，B 6，237 p.

吉田秀夫・庄司博一：老齢保障と調整年金，労働旬報社，B 6，479 p.

1968

大堀照司：定年制度，労働法令協会，B 6，186 p.

小川喜一：イギリス国営医療事業の成立過程に関する研究，風間書房，A 5，689 p.

喜多一雄：農民年金の諸問題，日本国民年金協会，B 6，114 p.

厚生省保険局企画課編：保険医療費の動向，厚生出版，A 5，462 p.

児島美津子：医療相談の手引き——公的に保障される医

療費——，日本看護協会，A 5，162 p.

佐口卓：暮らしを守る社会保険，日本労働協会，新書，220 p.

全国厚生農業協同組合連合会：日本農民医療運動史，B 5，610 p.

長野県国保直診医師会：地域医療，長野県国保団体連合会，B 5，229 p.

ダン・マギル，村上清訳：企業年金，保険研究所，A 5，296 p.

吉田秀夫：医療保障入門——その歩みと課題，医学書院，新書，284 p.

1969

小山路男：現代医療保障論，社会保険新報社，A 5，369 p.

近藤文二：どうなる健康保険組合，社会保険法規研究会，B 6，363 p.

坂本重雄：公務員共済入門，労働旬報社，新書，201 p.

平石長久：インド社会保険の史的考察，社会保障研究所，A 5，187 p.

ベヴァリジ，山田雄三監訳：ベヴァリジ報告・社会保険および関連サービス，至誠堂，A 5，439 p.

D 医療・公衆衛生

1961

片岡昇・富岡次郎・園部逸夫：看護婦，三一書房，新書，244 p.

金子敏輔：医療における人間関係，医学書院，A 5，166 p.

川上武：日本の医者，勁草書房，B 6，365 p.

1962

庄司光：住居と環境の衛生学，光生館，A 5，419 p.

日本病院協会：病院看護の諸問題，A 5，122 p.

レフ，滋賀秀俊訳：健康と人類，岩波書店，B 6，429 p.

1963

安食正夫・片野卓：医療集団の行動と性格，誠信書房，B 6，240 p.

勝沼晴雄：地域保健のすすめ方，医歯薬出版，A 5，492 p.

杉正孝：看護社会学，医学書院，新書，158 p.

中原実：医療問題，医歯薬出版，新書，147 p.

楡林達夫：日本の医者，三一書房，新書，248 p.

松岡士富・高田利広：医師の業務と法的責任，産業報知新聞社，B 6，117 p.

水野肇：世界の病院，ペリかん社，新書，223 p.

1964

公営企業金融公庫：病院事業の現状と問題点，A 5，233 p.

国立公衆衛生院：公衆衛生の進歩と展望，第一出版，B 5，332 p.

精神医療史研究会：精神衛生法をめぐる諸問題，病院問題研究会，B 5，187 p.

高橋暁正：新しい医学への道，紀伊国屋書店，新書，291 p.

田波幸男：日本の公衆衛生，日本公衆衛生協会，A 5，112 p.

能美光房：衛生行政と社会福祉，医歯薬出版，A 5，230 p.

水野肇：日本の医療，医学書院，新書，200 p.

1965

川上武：医療の論理—医者と患者の間，勁草書房，B 6，295 p.

川上武：現代日本医療史，勁草書房，A 5，569 p.

庄司光・宮本憲一：恐るべき公害，岩波書店，新書，212 p.

菅谷章：看護労働の諸問題，医学書院，A 5，155 p.

J. フレッチャー，岩井裕彦訳：医療と人間，誠信書房，B 6，298 p.

ジェームス・ホガース，江間時彦訳：医師の報酬—主要12カ国の国際比較，医歯薬出版 A 5，606 p.

1966

秋元波留夫：異常と正常—精神医学の周辺，東京大学出版会，B 6，299 p.

大喜多敏一：大気汚染，総合図書，B 6，220 p.

大河内一男（編）：公害（東京大学公開講座 7），東京大学出版会，B 6，289 p.

大原健士郎：現代の精神衛生講座，誠信書房，A 5，325 p.

勝沼晴雄：公衆衛生学的接近，南江堂，B 5，164 p.

加藤正明：正常と異常の間，筑摩書房，新書，226 p.

上出弘之：精神衛生，川島書店，A 5，212 p.

杉森みどり：この目で見たアメリカの看護，医学書院，新書，183 p.

堂庭一郎：医者への告発状，三一書房，新書，283 p.

富岡次郎：看護婦現代史，医学書院，新書，228 p.

楡林達雄・小山仁示・金谷嘉郎：病氣と人間—医学・医療の社会的背景，三一書房，新書，267 p.

原島進：環境衛生と産業衛生，光生館，B 6，227 p.

水野肇：患者学，主婦と生活社，B 6，273 p.

山本幹夫編：社会開発における健康管理とその科学的基盤，有隣堂出版，B 5，326 p.

吉岡修一郎：もうひとりのナイチンゲール，医学書院，新書，180 p.

1967

垣内秀雄：疾病地理，地人書房，A 5，127 p.

K. W. カップ著，篠原泰三訳：私的企業と社会的費用——現代資本主義における公害の問題——，岩波書店，A 5，321 p.

川上武：日本医療の課題—臨床医の視角，勁草書房，B 6，328 p.

佐久間昭：くすりとからだ，東京大学出版会，B 6，350 p.

社会保障運動研究会編：健康破壊と医療危機—生命と健康を守るために，労働旬報社，B 6，221 p.

砂原茂一：医者とくすり—治療の科学への道，東京大学出版会，B 6，313 p.

高橋暁正：現代医学概論，東京大学出版会，A 5，297 p.

田中恒男・井上幸子・松下和子：看護活動調査の実際，医学書院，B 5，127 p.

地域開発研究所開発同学会監修：産業と公害対策，経済評論社，A 5，1191 p.

バーリング・テンプル，姉崎正平・姉崎宜子・袖井孝子訳：病院その複雑な人間関係，医学書院，A 5，299 p.

西尾雅七：人災と健康，光生館，B 6，280 p.

日本公衆衛生協会編：公衆衛生の発達，同協会，A 5，856 p.

エスサア・ルシール・ブラウン，小林富美栄・宇川和子訳：患者ケアの問題点と新しい方向，医学書院，A 5，175 p.

R. E. ブリッジマン，谷村秀彦訳：病院の地域化，鹿島研究所出版会，A 5，150 p.

松永英剛：世界と日本の医療，金剛出版，B 5，365 p.

水野肇：日本の医療は狂っている，三一書房，新書，205 p.

1968

宇井純：公害の政治学，三省堂，新書，216 p.

加藤一郎編：公害法の生成と展開——公害法の研究1——，岩波書店，A 5，499 p.

川上武：医学と社会—科学的精神とヒューマニズム，勁草書房，B 6，441 p.

菊池武雄：自分たちで生命を守った村，岩波書店，新書，210 p.

クラーマン H. E.，大村潤四郎・江間時彦訳：保健と医

- 療の経済学, 至誠堂, B 6, 290 p.
- 健康保険組合連合会: 病める医療—その現実をみつめる, 同連合, A 5, 187 p.
- サンケイ新聞社会部: にっぽんの医師, サンケイ新聞社, B 6, 260 p.
- 詫間晋平・大久保貞義: 単調労働と医療社会学, 帝国地方行政学会, A 5, 296 p.
- 田中恒男: 医療社会学(社会学叢書 13), 学文社, A 5, 253 p.
- 橋本正己: 地域保健活動——公衆衛生と行政学の立場から——, 医学書院, A 5, 217 p.
- 水野肇: ユニークな病院—医療のひずみをキリひらく人, 毎日新聞社, B 6, 208 p.
- 1969
- 医学史研究会: 医療社会化の道標, 勁草書房, B 6, 400 p.
- 兼子昭一郎・野田衛・岩野弘共: 医者を告発する—我々にとって医者とは何か, エール出版社, 新書, 221 p.
- 川上武・松田道雄: 医学のすすめ, 筑摩書房, B 6, 348 p.
- 郡司篤孝: うそつき食品—メーカーへの告発状, 三一書房, 新書, 283 p.
- 佐藤竺・西原道雄編: 公害対策 1, 有斐閣, A 5, 404 p.
- 高橋暁正: 社会のなかの医学, 東京大学出版会, B 6, 281 p.
- 武知国夫: 有害食品と健康食品—ガン・難病, 成人病と食品が原因, 八雲井書院, B 6, 286 p.
- 谷みゆき: 医療をになう人々, 三一書房, 新書, 243 p.
- 田村理一: やぶ医者繁昌記, 農山漁村文化協会, B 6, 364 p.
- ユルゲン・トールワルド, 塩月正雄訳: 近代外科を開拓した人びと, 東京メディカルセンター出版部, A 5, 609 p.
- 波奈土昇: みんなの医療法入門, 医事薬業新報社, 新書, 287 p.
- 農林省農地局監修: 農業と公害——農業用水の水質保全——, 地球出版KK, A 5, 360 p.
- 野村拓: 医学と人権, 三省堂, 新書, 207 p.
- 野村拓: 医療政策史, 医療図書出版社, A 5, 165 p.
- 富士川游: 日本疾病史, 平凡社, 新書, 351 p.
- フォルケ・ヘンレエン, 藤岡小太郎訳: 老化の問題, 岩波書店, 新書, 184 p.
- 水野肇: 医学部, 三省堂, 新書, 197 p.
- 宮本忍: 医療の原点, 勁草書房, B 6, 309 p.
- 村田源一朗・松草昭彦: 病める医療, 岩手新報社, 新書,

223 p.

- 森下敬一: ガンは恐くない—その予防と治療法, 文理書院, B 6, 270 p.
- 吉田秀夫: 看護婦白書, 労働旬報社, B 6, 255 p.
- ラッセル・リー, セーレル・エイマール, 水野肇監訳: 医師の話, タイム・ライフ・インターナショナル, B 6, 297 p.

E その他関連領域

1960

- 大島正光: 疲労の研究, 同文書院, A 5, 249 p.
- 大橋薫: 都市の病理学, 誠信書房, A 5, 355 p.
- 岡崎文規: 自殺の社会統計的研究, 日本評論新社, A 5, 196 p.
- 小川太郎: 少年非行と少年保護, 立花書房, A 5, 462 p.
- 菊池勇夫教授六十年祝賀記念論文集刊行会編: 労働法と経済法の理論, 有斐閣, A 5, 791 p.
- 小山隆編: 現代家族の研究—実態と調査, 弘文堂, A 5, 579 p.
- 社会政策学会編: 中小企業と労働問題, 有斐閣, A 5, 256 p.
- 西村崑通・吉村励: 日本の賃金問題, ミネルヴァ書房, B 6, 352 p.
- 林栄夫: ビルト・イン・スタビライザー, 至誠堂, B 6, 280 p.
- 藤林敬三博士還暦記念論文集編集委員会編: 労働問題研究の現代的課題, ダイアモンド社, A 5, 458 p.
- 舟橋尚道・藤本武編: 講座日本の労働問題, I 賃金, 弘文堂, A 5, 411 p.
- 労働科学研究所編: 日本の生活水準, 同研究所, A 5, 402 p.

1961

- 大前明郎: 英国労働政策史序説, 有斐閣, A 5, 246 p.
- 岡田与好: イギリス初期労働立法の歴史的展開, 御茶の水書房, A 5, 272 p.
- エリ・ギンズバーグ, 大来佐武郎訳: 人間能力の開発, 現代の国富論, 日本経済新聞社, B 6, 217 p.
- 国民生活研究会編: 10年後の国民生活, 東洋経済新報社, B 6, 194 p.
- 小林謙一: 就業構造と農村過剰人口, 御茶の水書房, A 5, 530 p.
- 西川桂治等編: 社会保障と労働者福祉, 三一書房, 新書, 229 p.
- 藤本武: 最低賃金制度の研究, 日本評論新社, A 5,

746 p.

森喜一：日本労働者階級状態史，三一書房，A 5，548 p.

1962

磯村英一編：現代都市問題，有斐閣，B 6，225 p.

植松正・団藤重光・牧野巽・吉益脩夫編：少年非行の予防，有斐閣，A 5，259 p.

内海義夫：労働時間の理論と問題，日本評論新社，A 5，224 p.

岸本英太郎：同一労働同一賃金—その理論と政策序説，ミネルヴァ書房，B 6，217 p.

岸本英太郎：日本賃金論史，ミネルヴァ書房，B 6，374 p.

富安長輝：わが国の停年制度論，日本労働通信社，A 5，634 p.

森喜一：続日本労働者階級状態史，三一書房，A 5，548 p.

1963

国民生活研究所編：国民生活の構造分析，B 6，177 p.

東京大学総合研究会編：日本の都市問題，東京大学出版会，B 6，314 p.

富安長輝：企業退職年金制度の研究，日刊労働通信社，A 5，1493 p.

平田富太郎編：労働福祉，日本労働協会，新書，310 p.

1964

伊東光晴他：住みよい日本，岩波書店，B 6，430 p.

岩井弘融：犯罪社会学，弘文堂，A 5，293 p.

岸本英太郎：運動のなかの賃金論，青木書店，B 6，237 p.

黒川俊雄：日本の低賃金構造，大月書店，B 6，431 p.

塩田庄兵衛：日本の労働問題，河出書房，B 6，254 p.

社会政策学会編：経済成長と賃金，御茶の水書房，A 5，240 p.

留岡清男：教育農場五十年，岩波書店，B 6，328 p.

中野卓編：地域生活の社会学，有斐閣，A 5，271 p.

日本社会事業大学編：コミュニティセンターをめぐる住民の生活と意識，神奈川県愛泉ホーム，B 5，107 p.

1965

岩井弘融他編：都市問題講座 2，住宅・土地・水，有斐閣，A 5，379 p.

岩井弘融他編：都市問題講座 5，社会環境，有斐閣，A 5，289 p.

岩井弘融他編：都市問題講座 6，公害・災害，有斐閣，A 5，345 p.

大河内一男：産業別賃金決定の機構，日本労働協会，

A 5，603 p.

小川政亮・蓼沼謙一編：講座現代法 10，現代法と労働，岩波書店，A 5，400 p.

絹谷祐規：生活・住宅・地域計画，勁草書房，A 5，441 p.

佐藤竺：日本の地域開発，未来社，A 5，387 p.

総合政策研究会：地域開発と大都市問題，ダイヤモンド社，A 5，263 p.

高瀬壯太郎編：地域開発，経林書房，A 5，371 p.

日本地域開発センター編：日本の地域開発，東洋経済新報社，A 5，393 p.

日本労働協会編：日本の賃金水準，日本労働協会，B 6，204 p.

林雄二郎：20年後の豊かな日本への一つのビジョン，経済企画庁，B 5，100 p.

福武直編：地域開発の構想と現実(全3巻)，東京大学出版会，A 5，330 p.，330 p.，311 p.

藤本武：日本の生活時間，労働科学研究所出版部，A 5，330 p.

ペリング，大前朔郎訳：イギリス労働組合運動史，東洋経済新報社，B 6，345 p.

安川正彬：人口の経済学，春秋社，A 5，170 p.

結城蔭吾：地域開発の諸問題，校倉書房，A 5，474 p.

労働省婦人少年局：女子の定年制，日本労働協会，B 6，118 p.

1966

安食正夫：異常社会学，川島書店，B 6，137 p.

氏原正治郎：日本労働問題研究，有斐閣，A 5，489 p.

大河内一男編：資料戦後20年史4，労働，日本評論社，B 5，554 p.

大河内一男先生還暦記念論文集刊行委員会編：大河内一男先生還暦記念論文集2，労働経済と労働運動，有斐閣，A 5，430 p.

大橋薫：社会病理学，誠信書房，A 5，338 p.

大橋薫編：社会病理学，有斐閣，B 6，224 p.

小関三平編：収奪と貧困の社会問題(講座現代日本の社会問題 第2巻)，汐文社，B 6，282 p.

国民生活研究所編：国民福祉政策の基本問題，国民生活研究所，B 6，230 p.

真田是編：日本資本主義と社会問題(講座 現代日本の社会問題 第1巻)，汐文社，B 6，286 p.

総評中立労連春闘共闘委員会賃金専門委員会：退職金と年金制度，労働経済社，A 5，318 p.

高橋武：余暇と労働，日本生産性本部，B 6，362 p.

- 戸塚秀夫：イギリス工場法成立史論，未来社，A 5，382 p.
- 富安長輝：定年制と賃金制度，労働法学出版，B 6，311 p.
- 日本地域開発センター編：現代大都市の諸問題(全3巻)，日本地域開発センター，A 5，297 p.，250 p.，546 p.
- 日本リサーチセンター：10年後の国民生活，東洋経済新報社，A 5，370 p.
- 萩沢清彦：八時間労働制，有斐閣，B 6，217 p.
- 法政大学大原社会問題研究所：中小企業の賃金と労働市場，労働旬報社，A 5，445 p.
- 臨時家内労働調査会編：家内労働の現状，日本労働協会，A 5，323 p.
- 1967
- 安積得也編：国民生活の未来像，大蔵省印刷局，A 5，71 p.
- 上野裕也・井関弘太郎・木原健太郎：地域における住宅建設計画の方法論的研究，日本住宅公団建築部調査研究課，B 5，146 p.
- 馬原鉄男編：支配と差別の社会問題（講座現代日本の社会問題 第3巻），汐文社，B 6，322 p.
- 大来佐武郎：地域開発の経済，筑摩書房，A 5，338 p.
- 大来佐武郎編：都市開発講座(全3巻)，鹿島研究所出版部，A 5，271 p.，269 p.，228 p.
- 大河内一男等編：現代労働問題講座第5，労働時間と職場環境，有斐閣，A 5，305 p.
- 小川利夫・高沢武司編著：集団就職——その追跡研究——，明治図書出版，B 6，190 p.
- 公文昭夫：労働組合と福利厚生，労働旬報社，新書，205 p.
- ヴィオラ・クレイン，遠藤正介訳：世界の婦人労働，労務行政研究所，A 5，235 p.
- 小山隆編：現代家族の役割構造—夫婦・親子の期待と現実—，培風館，A 5，374 p.
- 四方寿雄：現代社会病理学，ミネルヴァ書房，A 5，220 p.
- 柴田徳衛：現代都市論，東京大学出版会，A 5，396 p.
- ドイツ社会政策研究会訳編：西ドイツの労働政策，日本労働協会，A 5，333 p.
- 仲村祥一：社会体制の病理学，汐文社，B 6，283 p.
- 日本労働法学会編：労働保護法(1)（新労働法講座7），有斐閣，A 5，376 p.
- 日本労働法学会編：労働保護法(2)（新労働法講座8），有斐閣，A 5，428 p.
- 本城和彦等著：住宅の経済学，日本経済研究センター，A 4，240 p.
- 宮本憲一：社会資本論，有斐閣，A 5，400 p.
- 宮本義孝：世界の都市再開発，中高層建築開発協会，A 5，250 p.
- 米花稔編：社会的費用と地域開発，白桃書房，A 5，251 p.
- 1968
- 江見康一・溝口敏行：個人貯蓄行動の国際比較，岩波書店，A 5，154 p.
- 小関三平：社会病理学と都市底辺，汐文社，B 6，350 p.
- 金沢良雄等編：住宅問題講座，有斐閣，第5，6，8，A 5，447 p.，449 p.，486 p.
- L. H. クラッセン，恒松制治訳：地域再開発，鹿島研究所出版会，A 5，160 p.
- 国民生活研究所編：世帯変動と生活構造—日本のライフ・サイクル—，東洋経済新報社，A 5，214 p.
- 社会政策学会年報編集委員会編：戦後労働運動の展開過程，御茶の水書房，A 5，210 p.
- 菅谷頼道：最低賃金制—業者間協定方式から審議会方式へ—，総合労働研究所，B 6，288 p.
- 高橋武：週5日制の時代—この時代をいかに考えるか—，日本経営出版会，B 6，269 p.
- 高山英華編著：都市生活者の生活圏行動，地域社会研究所，A 4，188 p.
- 谷口茂：現代の都市問題，ミネルヴァ書房，B 6，181 p.
- 津田真澄：年功的労使関係論，ミネルヴァ書房，A 5，286 p.
- 都留重人編：現代資本主義と公害，岩波書店，B 6，398 p.
- 那須宗一・橋本重三郎：犯罪社会学，川島書店，A 5，239 p.
- P. M. ハウザー，伊部英男訳：人口爆発と都市集中，至誠堂，B 6，170 p.
- 早川和男他：住宅問題入門—理論・実務編—，有斐閣，B 6，362 p.
- 樋口幸吉：講座少年非行1・2・3，明治図書出版，A 5，264 p.，251 p.，240 p.
- アーヴィッド・ブローダセン，岡部実夫訳：ソビエトの労働事情，日刊労働通信社，A 5，307 p.
- ホブズボーム，鈴木幹久・永井義雄訳：イギリス労働史研究，ミネルヴァ書房，A 5，378 p.
- 南亮三郎・舘稔編：労働力人口の経済分析，勁草書房，A 5，291 p.

湯沢雅彦：家庭事件の法社会学，岩波書店，A 5，288 p.
 労働省大臣官房企画室編：定年制，日刊労働通信社，
 A 5，174 p.

1969

- 磯村英一編：日本のメガロポリス——その実態と未来像——，日本経済新聞社，A 5，215 p.
 岩井弘融他編：日本の犯罪学 2，原因 2，東京大学出版会，A 5，750 p.
 仲村祥一編：従属と退廃の社会問題，(現代日本の社会問題第 4 卷)，汐文社，B 6，337 p.
 大羽綾子・氏原正治郎編：現代婦人問題講座 2，第 3，亜紀書房，B 6，401 p.，396 p.
 岡部慶三・土方文一郎・岡田直之：社会的行動，培風館，B 6，369 p.
 金沢良雄等編：住宅問題講座 第 4，第 7，有斐閣，A 5，389 p.，420 p.
 岸本英太郎編：労働経済論入門，有斐閣，B 6，362 p.
 J. ゴッドマン・R. A. ハーパー，飛鳥田一雄訳編：変動する大都市，鹿島研究所出版会，A 5，211 p.
 斎藤一編：婦人労働——その労働科学的分析——，労働科学研究所出版部，A 5，242 p.
 佐藤武夫・西山 卯三編：都市問題——その現状と展望——，新日本出版社，B 6，444 p.
 産業計画会議編：わが国の所得政策，経済往来社，A 5，269 p.
 産業計画会議編：財政投融资と社会開発，経済往来社，A 5，165 p.
 塩田庄兵衛：現代労働組合運動論，労働旬報社，B 6，509 p.
 隅谷三喜男・小林謙一・兵藤 創：日本資本主義と労働問題，東京大学出版会，A 5，440 p.
 関嘉彦：イギリス労働党史，社会思想社，A 5，418 p.
 関田恭一：地域社会論，日本評論社，B 6，208 p.

竹内利美：家族慣行と家制度，恒星社厚生閣，A 5，442 p.

武田実：福利厚生，帝国地方行政学会，A 5，255 p.

津田真澄：労使関係の国際比較——35 か国の比較研究——，日本労働協会，A 5，377 p.

メルビン M. テューミン，岡本英雄訳：社会的成層，至誠堂，A 5，160 p.

日経連：ヨーロッパ企業における福利厚生の実態，A 5，192 p.

日本共産党中央委員会農民漁民部編：今日の部落問題，同党中央委員会出版局，B 6，247 p.

平井和彦：フランスの社会と労働，日刊労働通信社，A 5，281 p.

福武直：日本農村の社会問題，東京大学出版会，B 6，269 p.

R. プレビッシュ，大原美範訳：ラテン・アメリカの開発政策，アジア経済研究所，B 6，190 p.

ダニエル・ベル，岡田直之訳：イデオロギーの終焉——1950 年代における政治思想の涵濁について，東京創元新社，B 6，312 p.

堀江正規編：日本の貧困地帯上・下，新日本出版社，新書，221 p.，231 p.

松原治郎：核家族時代，日本放送出版協会，B 6，214 p.

宮本憲一：日本の都市問題——その政治経済学的考察，筑摩書房，B 6，258 p.

宮本茂雄：精神薄弱と非行，日本文化科学社，A 5，A 5，329 p.

村上益子編：婦人論のイデオロギー，啓隆閣，B 6，314 p.

村田喜代治：地域開発における新産業都市，東洋経済新報社，A 5，580 p.

村田敬次郎：メガロポリスへの挑戦，ダイヤモンド社，B 6，234 p.